

授業科目名	国際関係論	科目コード	G1302L03
英文名	International Relations		

科目区分	学部共通科目 - 国際交流科目		
------	-----------------	--	--

職名	教授	担当教員名	渡部 恵子
学部	現代社会学部	学科	現代社会学科
曜日	水曜日	時限	2限目
開講時期	2年前期	授業の方法	講義
必修・選択	学部必修	単位数	2単位

授業の概要	2度の世界大戦と冷戦を経て、国際社会は湾岸戦争や地域紛争、テロなど、激動の時代を迎えている。一方でグローバル化による国家間の相互依存も真実だ。複雑な国際情勢を読むツールとなる理論を学びつつ、国際報道に触れ、考え、発表してもらおう。			
-------	---	--	--	--

キーワード	国際関係	グローバリゼーショ	アメリカ	東南アジア	北東アジア
-------	------	-----------	------	-------	-------

到達目標	国際関係論の歴史や理論などの基礎を学び、その知識を現実の国際情勢に照らし合わせながら、世界の動きを読むセンスを養う。			

ディプロマポリシー	2.国際人としての能力（専門性の向上）	4.社会人としての能力（社会性の向上）
カリキュラムポリシー	学生の基礎的能力の向上	専門分野に共通する基礎知識の向上

キー・コンピテンシー（重視する能力）				
コミュニケーション力	協働力	課題解決力	人間理解力	教育支援力
	/			/

教授方法（授業方法）					
知識教授型	対話型授業	演習・反復型授業	グループ演習	地域フィールドワーク	授業外学修指導・自主活動
		/	/	/	/

授業計画

回数	授業内容 詳細	標準時間
第1回	国際関係論とは何か、国際関係研究の基本的枠組みについて学ぶ。	
	【予習】参考図書をはじめ、国際関係論についての本を読み、当該の章にできる限り目を通しておく。	120分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第2回	安全保障。冷戦時代からの安全保障という概念の変遷を確認しながら、現在の安全保障体制について検討する。	
	【予習】教科書をはじめ、国際関係論についての概説書を読み、当該の章にできる限り目を通しておく。	120分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第3回	9.11後のアメリカ外交と国際社会。テロとの戦いから、オバマ外交を経て、現在のトランプの外交の特徴を見ていく。	
	【予習】アメリカ外交に関連するニュースを探して読み、印刷してくる。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第4回	国際社会とベトナム。20世紀に経験した長い戦争と、その後の国際的孤立から脱し、力強い経済成長を見せる東南アジアの社会主義国家について、対米、対中関係を軸に見ていく。	
	【予習】ベトナムに関連する国際ニュースを探して読み、印刷してくる。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第5回	台頭する中国。日中関係の歴史的流れと現状について学んだうえで、中国の、南シナ海、東シナ海、台湾海峡での動きを中心に見ていく。	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探してきて読み、印刷してくる。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第6回	朝鮮半島。東アジアの不安定要因の一つである北朝鮮の情勢を、その非核化の国際努力と併せて学ぶ。また、韓国の政治と外交、日韓関係の流れについても理解する。	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探して読み、印刷してくる。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第7回	国際社会の中の日本。日本の経済外交、国際貢献、そして日本が抱える領土問題について考察する。	
	【予習】テーマに係る記事を探して読み、印刷してくる。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第8回	中間テスト(終了後、解説30分)	
	【予習】テストの準備をする。ノートをチェックし、用語などを確認する。	60分
	【復習】テストの結果を見直し、理解が不十分な箇所について教科書を読み直す。	30分
第9回	国際関係論の理論。リアリズム、リベラリズム、コンストラクティズムなどについて学ぶ。	
	【予習】参考図書をはじめ、国際関係論についての概説書の中の、当該の章にできる限り目を通しておく。	120分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語の意味などを再確認する。	30分

第10回	冷戦後の紛争。米ソの対立が終結して平和への期待が高まる中で、国際社会はほどなく湾岸戦争という国際紛争を経験。また、ユーゴスラビア紛争をはじめとする国内紛争も頻発する。この状況に世界はどう対処したか検討する。	
	【予習】湾岸戦争かユーゴスラビア紛争に関する記事、書籍、映像作品など、何か一つ簡単に紹介できるよう準備する。	60分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第11回	欧州の統合と英国の離脱。欧州統合の歴史を振り返り、欧州連合（EU）からの離脱を国民投票で決めた英国の逡巡が意味するものについて検討する。	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探して読み、印刷してくる。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第12回	南北問題、地球環境問題と国際関係。南北問題や地球温暖化など、従来の主権国家間のみでは解決が困難な課題を検討する。	
	【予習】テーマに関連する新聞記事を探して読み、印刷してくる。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第13回	グローバリゼーション。グローバリゼーションの起源について考察、経済のみにとどまらない様々な次元のグローバリゼーションについて理解し、21世紀のグローバリゼーションの特徴について考える。	
	【予習】テーマに即した記事を選んで読み、印刷してくる。簡単に説明できるようにしておく。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第14回	情報革命と脱国家的主体。インターネットの普及による情報革命が国家間の関係に及ぼした影響について考察。こうした技術革新を背景にした脱国家的主体にどのようなものがあるか検討し、それらが国家関係に及ぼす影響について明らかにする。	
	【予習】テーマに即した記事を選んで読み、印刷してくる。簡単に説明できるようにしておく。	30分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第15回	国際社会の未来。情報化が済み、脱国家的主体が急増し、大きな役割を占めるようになってきた国際社会の近未来について考察する。	
	【予習】自分なりに考えをまとめ、発言できるように準備する。	60分
	【復習】ノートをチェックし、理解が足りない用語などを調べて理解する。	30分
第16回	期末試験(終了後解説30分)	
	【予習】テストの準備をする。ノートをチェックし、用語などを確認する。	60分
	【復習】テストの結果を見直し、理解が不十分な箇所について教科書を読み直す。	60分

評価方法	中間テスト（30％）、期末試験（40％）、授業態度（30％）		
使用資料 <テキスト>	講義で随時配布。	使用資料 <参考図書>	『Next教科書シリーズ 国際関係論』（有斐閣）、ナイ『国際紛争
授業外学修等			
授業外質問方法	随時受け付けます。		
オフィス・アワー	火曜2、3限。		